

全日本杖道大会で
増淵徳造さんが初優勝

全国から約500人が参加して行われた「第35回全日本杖道大会」4段の部で初優勝に輝いた増淵徳造さん



全国から約500人が参加して、東京巣鴨で開催された「第35回全日本杖道大会」4段の部で、増淵徳造さん（真壁町椎尾地区）が初優勝に輝きました。杖道は、長さ128cmの棒を用いた武道で、打つ・突くといった動作が基本で二人一組で行う形武道。増淵さんは、準決勝を僅差で勝利し決勝に進出。前回優勝の福岡県勢を3-10と圧勝し初優勝の栄冠に輝きました。真壁杖道会では、男女を問わず入門者を募集しています。（☎090-1313-110443・増淵まで）

八勝流拳法選手権大会で
八勝会真壁道場が好成績

1年間の練習成果を発揮し八勝流拳法選手権大会で好成績を収めた八勝会真壁道場のみなさん



筑西市で開催された「第27回2008八勝流拳法選手権大会」で八勝会真壁道場から参加した選手のみなさんが好成績を収めました。この大会は、ソウルオリンピックでデモンストレーション競技として世界に紹介された格闘技テコンドーと安全防具を着用して行われる硬式空手道と取り入れた、八勝会独自の試合ルールで直接打撃制で行われます。大会には県内外8道場から組手・型の部に260人が参加。同道場は7部門に優勝者を出すなど好成績を収めました。

寺田清美さんを迎え
真壁ライオンズ教育講演会を開催

真壁ライオンズ教育講演会で「素直で賢い子に育てるための家庭教育の在り方」をテーマに講演会する東京成徳短期大学教授 寺田清美さん



公立保育所26年勤務後、保育者養成で活躍されている東京成徳短期大学教授 寺田清美さんを講師に迎え、第3回真壁ライオンズ教育講演会が開催されました。これは、真壁ライオンズ・ライオネスクラブの青少年健全育成事業の一環で、会場の真壁福祉センターには約120人が参加。寺田さんは「素直で賢い子に育てるための家庭教育の在り方」をテーマに、子どもを取り巻く環境の変化などを質問形式などにして分かりやすく話されました。

岩瀬ロータリークラブが
不法投棄防止看板を設置

岩瀬ロータリークラブの皆さんがドライブに不法投棄防止を呼びかける看板を設置しました。



岩瀬ロータリークラブの皆さんが、きれいな街づくりを目的に、不法投棄防止を呼びかける看板30基を国道や県道沿いに設置しました。この活動は、同クラブの地域の豊かな水資源を守る事業の一環として、6年前から清掃作業と併せて行われている事業です。また、同クラブは県西地区ロータリークラブの一員として、ネパールに小学校を建設するなどの国際交流活動も行っています。「今後も地域に密着した活動を続けていきたい」と、会長は話していました。

岩瀬「花いっぱい運動」
推進協議会が県功績団体表彰

長年花を中心とした緑化活動を行ってきた岩瀬「花いっぱい運動」推進協議会が茨城県功績団体表彰を受賞しました。（写真/同協議会理事の稲川美津子さん）



これは、県がボランティア活動などにより、社会に貢献した団体を表彰するもので、同協議会は、市内道路沿いの緑地や公共施設などの花の植栽・管理を行い、地域住民の環境に対する意識の高揚と環境美化に貢献したことが評価されたものです。これは、県がボランティア活動などにより、社会に貢献した団体を表彰するもので、同協議会は、市内道路沿いの緑地や公共施設などの花の植栽・管理を行い、地域住民の環境に対する意識の高揚と環境美化に貢献したことが評価されたものです。

山口集落(岩瀬地区)が
県美しい水土里づくり優良活動で表彰

山口集落を代表して「農業農村シンポジウム2008」の席上で茨城県美しい水土里づくり優良活動表彰を受賞した磯直枝さん（写真右）と磯真市さん（写真左）



農業・農村環境保全などを目的に小美玉市で開かれた「農業農村シンポジウム2008」で、山口集落が美しい水土里づくり優良活動表彰「中山間地域等直接支払制度部門」で農林水産部長賞を受賞しました。この支払制度は、中山間地域などの耕作放棄地の発生を未然防止し、農業を続けながら農地が持つ多面的機能を確保するため、集落などに直接交付金を支払うもので、同集落は集落営農が組織化され水路・農道の管理や協定農地内のゴミ拾いなども行われています。

市村カラオケ友の会から
市スポーツ芸術文化振興協会に寄付

「市村カラオケ友の会」会長の市村栄一郎さん（写真右）と会長の荒井節夫さん（写真中央）から中田市長（写真左）に寄付金が手渡されました。



真壁福祉センターで約400人が参加して行われた、市村カラオケ友の会主催の「社会福祉チャリティカーオケ発表会」の収益金が、スポーツおよび芸術文化の振興のために団体や個人に助成などを行う、桜川市スポーツ芸術文化振興協会に寄付されました。この発表会は、高齢者に歌う場所を提供しようと始まったもので今回で6回目。「郷土芸能の保存やスポーツの振興など、少しでも地域に貢献できれば。」と、会長の市村さんと会長の荒井さんは、話していました。

岩瀬・真壁・大和商工会が
合併契約書に調印

岩瀬・真壁・大和商工会合併契約調印式後に固い握手を交わす（左から）岩瀬商工会長・西岡真壁商工会長・立会人の中田市長・今井大和商工会長



地域総合経済団体として地区内の商工業の総合的改善発展などを目的に、商工業者の指導育成に努めてきた岩瀬・真壁・大和商工会の合併契約調印式が湖畔（上の原地新田地区）で行われました。調印式では、多数の来賓の方々や関係者約90人が見守る中、3商工会長と立会人の中田市長が「商工会合併契約書」に署名・捺印しました。これにより、本年4月1日から会員数約1,800人の「桜川市商工会」が誕生することになりました。